



清盛、奇洛地での行動、般島到着時刻などを詳しく記述する。しかし奇洛地、別、  
合もある。当時の瀬戸内海の航行は、陸地沿いの狭い、  
時間10数分ごとに航行と停泊を繰り返す「地乗り航法」であった。この点に着目し、海上保安  
について記述がない場